

e-dream-s 通信

No. 82 発行：2007年11月11日 特定非営利活動法人 イー・ドリームズ

e-dream-s 通信 11月号では、カンボジア TESOL カンファレンスに関する続報記事を掲載しています。山田理事からの「サンフランシスコ便り」も3回目となりました。それでは11月号をお楽しみください。

目 次

- | | | |
|--------------------------------|------|------|
| 1. 3年目の英語教育特区 | 中川房代 | p. 2 |
| 2. 初音ミクのこと | 辻荘一 | p. 4 |
| 3. 有害図書 | 井川好二 | p. 5 |
| 4. 電話の向こう側 ～CamTESOL 発表手続き完了～ | 塚本美紀 | p.10 |
| 5. <サンフランシスコ便り 3号>サンフランシスコ交通事情 | 山田昌子 | p.12 |



the Pumpkin Carving Party に参加して (撮影：山田昌子氏 2007年)

3年目の英語教育特区

中 川 房 代

ローカルな話題で恐縮なのですが、11月8日(金)・9日(土)と私の勤務する大阪府寝屋川市で、大きなイベントが開催されました。寝屋川市小中学校英語教育特区研究発表会「心がひらく 心が動く 国際コミュニケーション科 寝屋川市より発信 Hop Step English! —可能性をひろげる小中一貫教育—¹」という名称の教育研究大会です。

寝屋川市は、今年度、英語教育特区²の認定の3年目を迎えました。特区の期間は5年間。今はちょうど中間地点、研究大会はその中間発表の位置づけで企画されました。寝屋川市の英語特区とは、小中一貫教育の1つの柱として、市内の全小中学校で「国際コミュニケーション科」の授業を行うというものです。初年度の2005年度は、小学校高学年と中学校³で週1時間の「国際コミュニケーション科(英語活動)」の授業を行い、2006年度は小学校中学年(年間20時間)でも開始、今年4月からは低学年(年間10時間)でも始まり、現在は小学校1年から中学校3年までの9学年で授業が行われています。

今年度は市内全中学校に年間を通じてNET(ALT)を、小学校2校に1名の日本人の「英語活動支援者(JAT)」を雇用して配置し、中学生の英語検定試験の受検に際しては3年間のうち2回まで、一人1,000円の受検料を市が負担するという施策をとっています。特区と言っても国からは資金面での補助はありませんので、市はかなりの予算を英語に関わって支出していることとなります。寝屋川市は(全国的にはわかりませんが)、大阪の中では「小学校での英語教育が『進んでいる』市」と言われているようです。

教育研究大会は、8日(金)の午後は、市内小中学校全36校(小学校24校、中学校12校)の1クラスずつが公開授業(または英語活動の発表)を行うという大がかりなものでした。市内全小中学校の児童・生徒を午前中で下校させ、授業を行うクラスや子ども達だけを再登校させて公開授業会場(4会場での分散開催のため)に連れて行く、保護者・地域の人たちが多数来校する、また各校のPTAにも運営を伝ってもらう、という市あげての大イベントとなりました。8日は、4会場あわせて、全国から1,600名以上の参加があったそうです。9日(土)は市民会館での全体会があり、こちらも2,000名近くの参加者があり、児童・生徒の英語活動の発表、実践報告、対談、シンポジウムが行われました。

と、少し客観的には書いていますが、私は主催者ではありませんが英語科教員の一人としてこの

¹詳細はこちら<http://www.city.neyagawa.osaka.jp/kyoiku/kyoikusidou/eigohappyou/eigotokku/index.html>

²詳細はこちら

<http://www.city.neyagawa.osaka.jp/kyoiku/kyoikusidou/eigokyouikutokku/eigokyouikutokku-01.htm>

³中学校の場合は、週3時間の通常の3時間の英語の授業に加えて、という形での設置。

イベントを担い、今は終わってほっとしているところです。

この紙面では、小学校から英語活動の授業を行うことの是非やこの研究大会の総括は書きません。というか、実は私にもまだよくわからないというのが本音なのですが、きちんとした分析や評価の必要性は感じています。教育委員会は様々なデータを用いて「成果」を宣伝し、小学校での「成果」を中学校がきちんと継承すべきではないかと、有言・無言の「プレッシャー」をかけてきています。現実に小学校での英語教育は行われていますし、その英語教育を受けた子ども達が次々と中学校に入学してきています。

国レベルでも、中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会が、「教育課程部会におけるこれまでの審議のまとめ⁴」を11月7日に決定、公表しました。皆さんもご承知のように、その中には、授業時数の増加、小学校高学年での週1時間程度の「外国語活動」（仮称）の必修化などが盛り込まれました。今後、どうなっていくのか、特区の動きと同時に注目していきたいと思っています。

e-dream-sでも、昨秋に韓国への「早期英語教育視察」を行い、小学校への英語教育導入の影響を探ってきました。来年2月には、カンボジアでのTESOLカンファレンスに2つの発表をする計画を進めています。10月下旬に発表の概要を応募し、11月中旬にはその選考結果が届くことになっています。詳しくは、塚本理事の原稿をご覧ください。

⁴ 文部科学省「新しい学習指導要領」
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm

初音ミクのこと

代表理事
辻 莊一

以前ニコニコ動画という、動画にみんなで突っ込みを入れながら見ることの出来るサイトを紹介しました。今回は「初音ミク」を紹介しよう。「初音ミク」とは音楽制作ソフトの名前です。

皆さんはDTPつまり Desktop Publishing という言葉を聞いたことがあるかもしれません。これはパソコン上で印刷以外の本を作る作業を全てことです。それではDTMは？これは Desktop Music のことで同様にパソコン上で作曲しアレンジし演奏してしまおうことですが、これは聞いたことがない人が多いかもしれません。ましてや自分でそのためのソフトを持っている人は極少数だと思われれます。



それはもちろんDTMが敷居の高いソフトだからです。つまり使いこなすのが難しいのです。さらに、これを使いこなして作曲しアレンジし演奏できたとしても、発表の場がなかなかありません。DTPならばできた本を周囲の人たちに見せることはできますが、音楽を聴かせるのはなかなか難しいですね。それにいくらよく出来ていても、ボーカルなしのインストゥルメントだけではあまり面白くありません。

「初音ミク」の特徴は、DTMに女性ボーカルの機能を持たせ、さらに図のようなキャラクター付けを行ったことです。つまり、自分の作詞作曲した曲を可愛い女の子に歌わせることができるわけです。しかもこれがコンピュータで作ったボーカルとは思えないナチュラルさです。

この機能が受けて「初音ミク」はDTMソフトとしては異例の売り上げを記録しています。さらに、現在は自分が作詞作曲した曲を動画と一緒にYouTubeやニコニコ動画などにアップして、みんなに聞いてもらうことができます。そんなことをしてもおそらく単なる器楽曲ではほとんど反応はないでしょうが、なにしろ可愛い女の子の声なので、ネット上では評判になっています。皆さんも一度ご覧になって下さい。いやそれよりも誰か購入して使い方をマスターし、イー・ドリームズのテーマ曲でも作ってくれませんかねえ。

有害図書

井川 好二

蓋をとると、鍋からホワンと白い湯気。冬が近付くと鍋料理が恋しくなる日本だが、フグは格別。関西では、「てっちり⁵」と云う。食べて、毒にあたれば死ぬから鉄砲。転じて、「てっちり」。フグの刺身は、「てっさ」と云う。

以前、知り合いに連れて行ってもらった、下関の名店「奈可越 (なかを)」の活けフグが懐かしい。まあ、そこまでの贅沢を云わなくても、大阪にもそこそこ美味しいフグを食べさせる店はある。毒を含んでいるかも知れないフグの身を、よく効いたもみじおろしとポン酢で食べる幸せは、日本の冬の愉しみである。



てっさ、下関「奈可越」にて

⁵てっ - ちり(「てつ」はふぐの異称「てっぼう (鉄砲)」の下略) ふぐを用いたちり鍋。ふぐちり。
[株式会社岩波書店 広辞苑第五版]

世に「有害」と云われる凶書は数々あるが、その有害さには違いがある。あるいは、どう云う凶書が有害かは人によって違っていると云えて、他人には何ともない本が、自分には極めて猛毒で命取りと云う場合があったり、その逆もむろんある。

今回は、最近であった、私にとっては酷く有害な凶書を紹介し、世の同病者へ緊急警告とするとともに、これらの書物にはまったく害毒性を感知せず、この緊急警告を一笑にふせる健全な免疫をお持ちの読者には、私のこれらの毒性に犯されやすい心と身体に、憐憫の情を。

しかし、本も毒があるから美味しいのだと、てっちりが教えている。

(1) 蔵田敏明 (文)、宮武秀治 (写真) (2006)「水上勉の京都を歩く」京都：淡交社。

人はなぜ、こんな阿漕な本を発行することを思いつくのだろう。水上勉⁶は生前、自著の中で、京都の古寺を紹介したり、桜の名所を巡ったりしていたのだが、この本は、そうした水上ゆかりの寺を、何枚ものきれいな写真で紹介し、水上の生涯を軽い文章で記している。

往年のベストセラー作家水上勉は、2004年に没し、その本は次々に絶版になっている。そうやって初めて、水上作品を、静かに味わう時期が来たと内心嬉しく思っていた昨今である。やれやれ。

紹介されているのは、「雁の寺」の相国寺瑞春院。小僧時代に修行した等持院⁷。金閣寺など。

そればかりか、映画化された水上作品からの写真も、併せて収録しているのだ。白眉は、映画「五番町夕霧楼」の佐久間良子。

まだある。生前、水上がよく通ったと云う京都の料亭や料理屋も、地図と写真付きで紹介されている。

ここまでされると、もう京都へ行きたくて堪らない、こらえ性のない私のなってしまう。そしてこの紅葉の季節である。そこが有害の所以。立て込んでいる仕事には、猛毒を撒き散らす本である。ゆめゆめご購入なきよう。

⁶ みずかみつとむ [水上勉] 現代の小説家(1919-)。福井県生まれ。宇野浩二(うのこうじ)に師事。「霧と影」「海の牙(きば)」など社会派推理小説を発表後、幼少時の体験に基づく「雁(が)の寺」で直木賞受賞(1961)。女の哀(かな)しみを描いた「越後(えちご)つついし親不知(おやしらず)」「五番町夕霧楼」「飢餓海峡」「越前(えちぜん)竹人形」、伝記「宇野浩二伝」「一休」「良寛」。【新世紀ビジュアル】

⁷ どうじ-いん【等持院】京都市北区にある臨済宗の寺。1358年(延文3)足利尊氏を葬った場所に創建。尊氏の法名を寺号とし、足利家累代の廟所。尊氏・義詮よしあきら以下の木像がある。

(2) 司馬遼太郎(2007)「街道をゆく 夜話」東京：朝日文庫

全 43 巻で完結した筈の、司馬遼太郎⁸の「街道をゆく」が、何で今頃？阿漕などと云えば、これほど阿漕な本もない。司馬が没した 1996 年以降、この史談の天才をダシにした様々な企画出版が行われ、中毒患者の私としても、とても付き合い切れないと、最近では司馬関係でも相手にしない書籍も多々あって、これはある程度の免疫ができたと喜んでいた矢先。

読破した筈の「街道をゆく」の追加？である。帯には：

司馬遼太郎が生涯にわたって書いた短いエッセイ・評論のなかから、そののちの「街道をゆく」に繋がるものを集め、日本全国、北から南まで、あらためて編集し直したアンソロジー。司馬史観をコンパクトに堪能できるうえ、「街道をゆく」シリーズの入門書としても最適。

などと、姑息なことが連ねてある。パラパラとページを繰ってみると、なるほどなるほど、「街道をゆく」の原型のような短編が並んでいる。別のいくつかの本にちらばっていたのをここに纏めているのだ。原型であるから、いわば、シングル盤のようで、「街道をゆく」の作品に見られる、CD アルバムのような全体としての主張や完成度は未だない。もちろん、文体も違う。

たとえば、「大阪八景」と云う掌編では、大阪の世界に誇れる風景を、8つ選んで、軽いタッチで書いている。中之島、法善寺横町、源聖寺坂など。「酒郷側面誌」と云う短編は、自宅の近所にある小さな城下町、池田市⁹の、古いつくり酒屋の話である。どちらも、「街道をゆく」本編にはないものだが、その原型と云えるもの。

何が毒かと云うと、こうした本は結構しっかり読んでしまうからである。この忙しい時に、できるだけ、のめり込んでしまうような本は避けて、溜った仕事を片付けてと思っているのに、である。早速購入し、何かと理由を見つけて読んでいる。読んで面白いのが、何よりよくない。有害である。

(3) 澁澤龍彦、澁澤龍子(2006)「澁澤龍彦の古寺巡礼」東京：平凡社。

[株式会社岩波書店 広辞苑第五版]

⁸ しば-りょうたろう【司馬遼太郎】小説家。本名、福田定一。大阪生れ。大阪外大卒。乱世・変革期の群像を描いた「国盗り物語」「竜馬がゆく」「坂の上の雲」などの小説や、紀行「街道をゆく」で司馬史観と呼ばれる柔軟な歴史解釈を示す。文化勲章。(1923～1996) [株式会社岩波書店 広辞苑第五版]

⁹ いけだ【池田】大阪府北西部の市。豊中とともに大阪の代表的な住宅衛星都市。かつて清酒・木炭で有名。人口 10 万。 [株式会社岩波書店 広辞苑第五版]

まさか、こんな本が発行されるとは思わなかった。

澁澤龍彦¹⁰は、大学時代に耽読した作家であった。東京大学の仏文出身の翻訳家として世に出、マルキ・ド・サドの「悪徳の栄え」の翻訳出版で、猥褻物出版で告訴され、有罪。エロス研究のディレクター。その澁澤の本ゆえに、今回紹介する3冊の中で、一番有害であるとも云える。

この本は、1987年に没した澁澤の妻、龍子が、生前、澁澤と一緒に旅した日本国内の古寺とその時のエピソードを、写真と文章で紹介しているのである。中には、いつものようにサングラスをかけた澁澤龍彦の、京都や滋賀や和歌山を旅した際の写真まで収録している。嗚呼。

「毒薬の手帳」、「黒魔術の手帳」などと云う物騒なタイトルをつけ、装幀にこった美しい箱入り本を多く出版していた禁断のフランス文学者、シュールリアリストの澁澤が、陽のささぬ書齋からでて、京都の高山寺¹¹や、琵琶湖の竹生島¹²に遊んだり、吉野の桜を愛でたとは、俄に信じ難い、のである。しかし、当時の写真は正直に、あるいは残酷に、事実を写している。

そればかりか、龍子は、二人で京都の東福寺を訪れた時のエピソードを紹介している。草葉の陰の澁澤はどういうのだろうか？

京都といえばこんなこともありました。東福寺だったと思いますが、お坊さんがわたしたち一団の観光客に向かって、寺のことをあれこれ説明して、「この字はなんと読むか」とか「この時代の天皇は誰か」などと質問するのです。歴史なんて得意中の得意だった澁澤が、ことごとく答えてしまうので、お坊さんが「きみは京大の学生かね」「いいえ東京大学です」と彼。自分自身で「東京大学です」なんて言ったのは、後にも先にもこれ一回きりですし、40歳を過ぎてからの話ですが、彼は本当に学生のように若く見えました。(p. 47)

¹⁰澁澤龍彦(1928- 87) 小説家、評論家、フランス文学者。本名澁澤龍雄(たつお)。1953年(昭和28)東京大学仏文科を卒業。59年サドの『悪徳の栄え』を翻訳出版し、61年猥褻(わいせつ)文書販売・所持罪となる。サドおよびフランス現代文学の翻訳、中世ヨーロッパの悪徳文学と東西文化のエロスの異端の系譜などを追求し、評論、小説などに活躍した。62年小説『犬狼都市』『神聖受胎』、64年『夢の宇宙誌』、65年『新サド選集』『快樂主義- 現代人の生き甲斐(がい)を探究する』、67年に『エロティシズム』、71年『黄金時代』、72年『悪魔のいる文学史- 神秘家と狂詩人』など、形而上(けいじじょう)学的なイメージを描いた。ほかに著書は『澁澤龍彦集成』、泉鏡花賞の『唐草物語』、『マルジナリア』、読売文学賞の『高丘親王航海記』など。87年8月5日没。【Super Nipponica 2003】(C)小学館

¹¹こうざん - じ【高山寺】京都市右京区にある真言系の単立寺院。山号、梅尾とがのお山。平安中期から存したが、明恵みょうえが中興後信仰を集め、茶園・紅葉をもって知られた。鳥獣戯画絵巻などのほか、文書典籍にも貴重な蔵品が多い。[株式会社岩波書店 広辞苑第五版]

¹²ちくぶ - しま【竹生島】琵琶湖の北部にある島。周囲2キロメートル。樹木が繁茂し、風光絶佳。都久夫須麻神社・宝巖寺がある。[株式会社岩波書店 広辞苑第五版]

本当に、幻滅である。こんな濫澤を見たくはなかった。「黒魔術」も「悪徳の栄え」も形無し。

しかし、こうしたある種の「暴露本」を読んでしまうと、今まで、書庫の奥の奥に眠っていたサド公爵¹³やジョルジュ・バタイユ¹⁴が眼をさまし、邪悪な息を吹き返しそう。そっちの方が、今では健全な市民生活を営む私にとって、よほど有害だと云わざるを得ない。

これも、フグの季節か？(Sunday, November 11, 2007)

¹³サド【Donatien Alphonse Francois de Sade】フランスの作家。通称サド侯爵(Marquis de S.)。倒錯的な小説「ジュスティーヌ」「悪徳の栄え」などからサディズムの名が起った。(1740～1814) [株式会社岩波書店 広辞苑第五版]

¹⁴バタイユ【Georges Bataille】フランスの思想家・社会学者・作家。1930年代にM.レリスやカイヨワらと社会学研究会を組織して、近代を超える思想を探究。近代の「限定された経済」を批判して、蕩尽と浪費の非生産的な「一般経済」、非知の世界を構想。ポスト構造主義に大きな影響を与えた。主著「呪われた部分」「エロティシズム」。(1897～1962) [株式会社岩波書店 広辞苑第五版]

電話の向こう側

CamTESOL 発表手続き完了

塚本 美紀

職場の昼休み、携帯からカンボジアに電話をしてみた。CamTESOL 参加への書類送付についての質問をするためだ。カンボジアとの時差は2時間。日本の正午はカンボジアでは午前10時だ。最初に電話口に出たのは若い女性で、少し訛りがあるものの、流暢な英語で、私が書類の送付についてお尋ねしたいのだが、と伝えると、すぐに担当者に取り次いでくれた。担当者もまた流暢な英語で、こちらの質問に丁寧に答えてくれた。

「カンボジアに行ってみよう！」と言いつつも、どこか遠い国に感じていたのが、一本の電話で一気に距離が縮まった気がする。電話を取り次いでもらうときに聞こえた事務所内の物音を聞きながら、彼らはどんな部屋で仕事をしているのだろう、どんな物に囲まれているのだろう、どんな服を着ているのだろう、仕事で主に使っているのは英語だろうか、そして、彼らの周りにはいる子供たちはどんな顔で授業を受けているのだろう、と次々に興味がわいてきたのだ。どんな小さなことでも、実際に行動を起こすことによって、自分の視点が変わってくることを実感している。

10月23日に無事書類を送付し、CamTESOLでの発表申し込みの手続きが完了した。発表は二本で、一つは”EFL Teachers' Professional Development Needs: A Study of Teachers Practicing in Japan and Korea”。今年の夏に東京で行われたECAPの際に、参加した教員を対象に行ったアンケートを中心に井川先生がまとめられたものだ。もう一つは、”ECAP: A Collaborative Professional Development Program for EFL (English as a Foreign Language) Teachers in Japan & Korea”で、e-dream-sが行ってきたECAPの概要と成果などについて発表することを考えている。発表が許可されるかどうかは、来週末にはわかることになっている。楽天的な私は、きっと発表できることになるに違いないと思っているのだが、いずれにせよ、私たちのアジア学校教育支援の活動はしっかりと動き始めている。電話の向こう側を実際に見に行き、私たちにできる支援の形を作っていくと思う。

<サンフランシスコ便り>

サンフランシスコ交通事情

理事 山田昌子

15



“19th Avenue & Holloway, San Francisco State University.”というアナウンスでバスから降り、私の毎日の学生生活は始まる。私は、サンフランシスコ市の西部（地図のピンクの矢印の辺り）、**Chinese Americans**が多く住んでいる**Sunset**という地域に住んでおり、大学は、その南方にある（地図のブルーの矢印の辺り）ので、バス通学をしている。実際にバスに乗っているのは15分程度。国際自動車免許をとったので、自動車に乗ることも一度は考えたが、なんといってもサンフランシスコは駐車が難しい。大学の**international students**用のオリエンテーションでも、駐車スペースは限ら

れるし、違反駐車（\$350の罰金）は困るので、公共交通機関を使うことを勧められた。駐車ができずに授業に遅れてくる学生がいるのが実態のようだ。（尤も私は先日バスが25分も来なかったので、初めて遅刻してしまったけれど・・・）

サンフランシスコは、MUNI という市内の交通機関が大変整っているので、便利だと思う。左上の地図は、その **Municipal Transportation** の地図。通称 MUNI は、**municipal** から来ているのだろう。ご存知有名なケーブルカーのみならず、市内を網羅している市バス、市電のようなスタイルの鉄道、サンフランシスコ空港まで路線が延びているバートという鉄道、と様々な種類がある。定期はないが、私は、1か月使用できる **monthly pass** を利用している（大学の購買部でも、また **Safeway** 等のスーパーマーケットでも購入できる）。バスが1回\$1.5、ケーブルカーは1回\$5だから、1か月\$45はお得！だと思う。これがあれば、市内ならどこからどこまで何に乗っても **OK**。「地球の歩き方」には、使用する日にちをスクラッチして使うとなっているが、私はそれは見た事がない。**monthly pass** を見るだけで **OK**。大人用は“A”のマーク、小学生や中学生などは“Y”、お年寄りには“S”のマークがあり、それぞれ価格も異なるようだ。ダウンタウン（地図の緑の矢印の辺り）に行くのも、**monthly pass** ひとつで、何回乗り換えをしても全くお金を払わなくてもいいので、無給の貧乏学生の私にはぴったり。

乗るのは、基本的には前から乗り、お金を払うか、**pass** を見せる。一度 **pass** が使えない他の市内を走るバスに乗った時、\$5紙幣を払い、おつりがもらえず損をしたことがある。バスはす



¹⁵ <http://www.sfmta.com/cms/mmmaps/official.htm>

べて、お釣りはもらえないので、バスに乗る時は小銭を用意しなければいけないという教訓を得た。混んでいる時は、後ろから乗車することもできる。でも、たまにチェックがあり、pass やチケットを持っていないことがわかると、多額の罰金を払わなければいけないらしい (\$150)。市電のようなスタイルの鉄道の駅を降りた時、別の場所に連れて行かれる男性を見かけたことがある。きっとお説教の上、罰金を払う事になったのだろう。背を丸め項垂れていたその男性の姿が印象的だった。バスの降車は、基本的には後ろからだ、前からでも可能。前方の電光掲示板に通りが出る事もあるが、”Stop Requested”があると、それを取って代わり、次のバス停名がわからないこともある。次の停留所はドコドコとか丁寧に言ってくれることは、基本的にそれ程ないので、自分で今どこにいるのか、窓の外を見て確かめておかないといけない。夜や雨の時、初めての場所に行く時は、うす暗くて通りの名前が見にくいので、降りるのにドキドキすることがある。でも、ドライバーはとても親切で、乗る時に、「◎○に行きたいので、教えて！」とお願いしておく



と、大きな声で知らせてくれる。先日も、”Plymous & Ocean, your bus stop.”と知らせてくれた <アメリカは何でも言わないといけない社会なので、私は何でも言うように心がけている。そうでなくても私はずうずうしい部類なのに、益々ずうずうしくなりつつ? あると思う>。夜遅くなくても、MUNIの中は安全で、何かあるとすぐに police が飛んでくる仕組みになっているようだ。(でも、「降車してからが本当は危険だ

から気をつける!」と何度も言われた。) 降車は、ご存知のように、窓の上の辺に張ってあるロープを引くと”Stop Requested”の表示がでる。最初の頃はロープを引きたくて先を争うようにして引いていた (子供みたい!?)。

入口付近の前の十数席は、日本でいう優先座席。窓にも、“These seat must be for seniors and disabled persons.” や “These seats must be vacated when wheelchair users need this space.” と書いてある。お年寄りが乗車してくると、中学生や高校生も含め若者は自然に立ち、席を譲る。それが当たり前になっているので、見ていて清々しい。私はその例外を見た事がない。でも、9月初め頃、足の悪い女性が車椅子用の座席に座っていて、車椅子の男性が乗って来た時、ドライバーに大きな声で座席を譲るように言われていたのは、ちょっとやりきれない思いがした。私はたまたま彼女と同じバス停から乗車し、乗りにくそうにしている姿を見ていたのだが、彼女は、何も言わずに席を譲った。すぐに違う席に座ることができたのでほっとした。たまに Drinking & eating are prohibited. の筈なのにドライバーの目を盗んでいる乗客もいるが、様々な民族が乗り合っているにもかかわらず、概ねルールが徹底されているのは、日本とは全く違うなあと感心させられることがある。

バスが乗客で混んでいると、バス停に沢山の人が待っていても、通り過ぎることがある。私の近所のバス停は、朝は特に太平洋からの風がきつく、寒いので、いくら15分程の間隔でバスが来るとは言え、止まらず行ってしまうと、つい「日本だったら詰込むから、まだまだ乗れるのに・・・」と思ってしまう。それでも待っている人々は文句のひとつも言わないのには、驚いた。

が、一方で、バスを乗る時、先を争って乗る人々もいる。先日、別の話題でディスカッション¹⁶をしていた時、たまたまバス乗車の話になり、中国人の女の子が「中国人はほんまに無秩序で困るわ!」と言ったのを皮切りに、それまで静かだった2人のCaucasianの女性が「Chineseの中年女性は、順番等気にせず我れ先に乗るのよね。注意しても無視。あきれれるわ。」と熱くなって話をし出したのは、面白かった。普段は礼儀正しく、人類皆兄弟と見えているように見えたが、そういうふうに見ているんだ、親しくなったらもっと本音が聞けるかも・・・と楽しみだ。

サンフランシスコは、世界の様々なところからやって来ている人が多い。右の写真のケーブルカーのドライバーは、エクアドル出身だという。明るく元気で、話をしても楽しく、思わず一緒に写真を撮った。明日は Halloween、どんな夜になるのか。また、今後、街のもっと違う面をみつきたいと期待している！(October 30, 2007)



¹ 毎金曜の夜、international students対象のディスカッションのイベントに参加している（キリスト教の組織がサポートしているNPOが主催者）。

<編集後記>

原稿を寄せてくださったみなさま、有難うございました。
塚本理事からの報告から、カンボジアでの発表に向けて行われていた準備の数々を知り、読みながら「電話の向こう側」に居る人々の姿を想像して同じようなドキドキを味わわせていただきました。来週末の選考結果を楽しみに待っています。

(道面和枝)